

1) 支柱の施工

a. 鳥居型支柱

- (1) 植樹柵等に植栽する場に立て込み、丸太の脚に
- (2) 横木は水平に、添木を
- (3) 樹木と支柱、添木との等を巻きつけ、シュロ紐
- (4) 丸太の交差部分は、釘
- (5) 結束した鉄線の結び目
- (6) 結束した鉄線の結び目

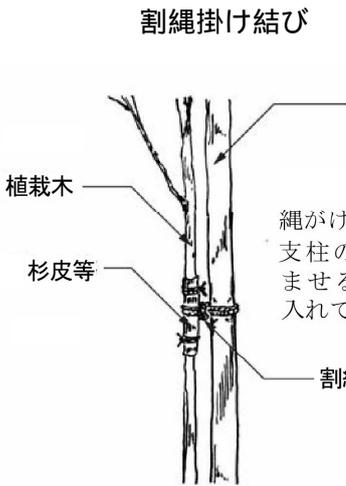


図 - 1

b. ハッ掛型・布掛型支柱

- (1) これらの形状の支柱で

2) 支柱の材料

a. 丸太類

丸太類は、カラマツ焼丸

を用い、道路と平行に一線に揃うよう

にする。

つすぐになるように取り付ける。

の損傷を防ぐため、結束部分には杉皮

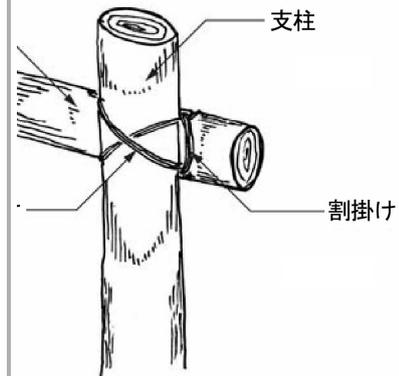
結びとする(図4-24左)

する(図4-24右)

び目がほどけないように堅固に結び、

結束部分は、積雪深より高い位置にな

鉄線割綾掛け



の模式図

埋め込み、指定寸法(標準60~90cm)

し、軟弱な土質では、規格より長い材

定の寸法とし、割れが無く、通直完満

b . 竹

(1) 晒竹(さらしだけ)使用とし、径 3cm 程度のものとする。使用にあたっては、節止めとする。

(2) 交差部は動かないよう

鉄線綾掛け結びとする

c . その他

(1) 結束に使用する縄類は

る。樹木と支柱の結束には赤縄を用い

(2) 染シュロ縄は耐用年数
ために樹木の結束には使
使用することが多い。

数年で樹木に食い込む可能性がある
で使用する。鉄線は亜鉛引鉄線#16 を

内容イメージ

3) 型式別標準図と施工上の留意点

添え柱型支柱（晒竹一）		内容イメージ	
記号	規 格		
A	樹高 1.5m 内外		
B	2.0m		
C	2.5m		

1) シュロ縄は2本使用2回巻き

2) 晒竹の直径寸法は三節上とする

- ・本支柱を使用する場合は、支

めとする

積雪深さ以上とする

φ3cm

コ縄

A : 700

B : 800

C : 800

深さ) 以上とする。

添え柱型支柱（丸太一添え柱）

記号	規 格
A	樹高 1.5m 内外
B	2.0m
C	2.5m

内容イメージ

(焼丸太) 末口45

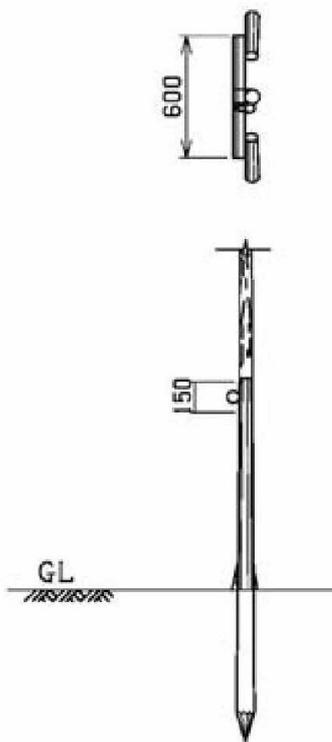
A : 1,000
B : 1,300
C : 1,800

G.L

A : 700
B : 800
C : 800

- 1) シュロ縄は2本使用2回巻き
- 2) 丸太杭の先端は3面削りとす

二脚鳥居型支柱添木付 / 仕口材目、



内容イメージ

(焼丸太)2700末口20~30

添木(焼丸太)600末口60

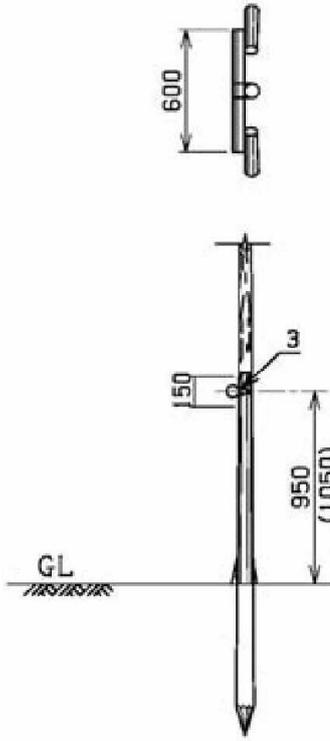


杭木(焼丸太)1800末口60

	名称	寸法
1	杉皮	150
2	シュロ縄	
3	垂鉛引き鉄線	# 16
4	西洋釘	L120

入れる)

二脚鳥居型支柱（街路）



内容イメージ

1 横木(焼丸太)末口60

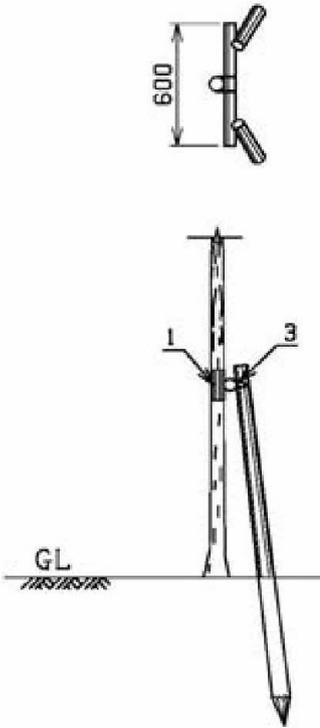


杭木(焼丸太)1800末口60

	名称	寸法
1	杉皮	150
2	シュロ縄	
3	垂鉛引き鉄線	#16
4	西洋釘	L: 120

入れる)

二脚鳥居型支柱添木付



	名称	寸法
1	杉皮	150
2	シュロ縄	
3	亜鉛引き鉄線	#16
4	西洋釘	L: 12

内容イメージ

杭(焼丸太) 2700末口20~30

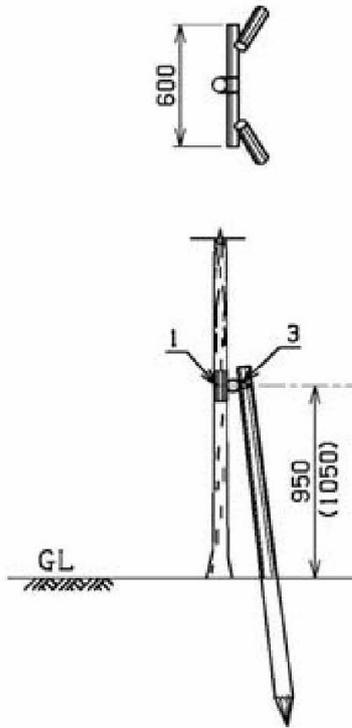
横木(焼丸太) 600末口60



杭木(焼丸太) 1800末口60

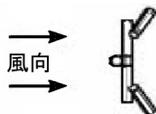
を入れる)

二脚鳥居型支柱



	名称	寸
1	杉皮	
2	シュロ縄	
3	亜鉛引き鉄線	
4	西洋釘	L

- 丸太相互の接合箇所は横木に1
- 支柱の方向は原則として夏季(



なお、列植等の

- 丸太杭の先端は3面削りとす
- 保護材は、杉皮、杉テープまた

内容イメージ

横木(焼丸太)600末口60

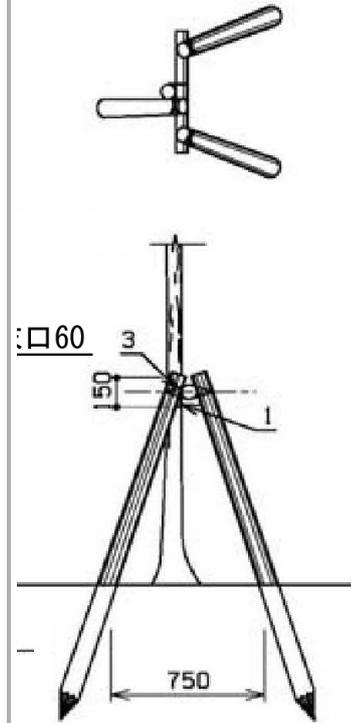
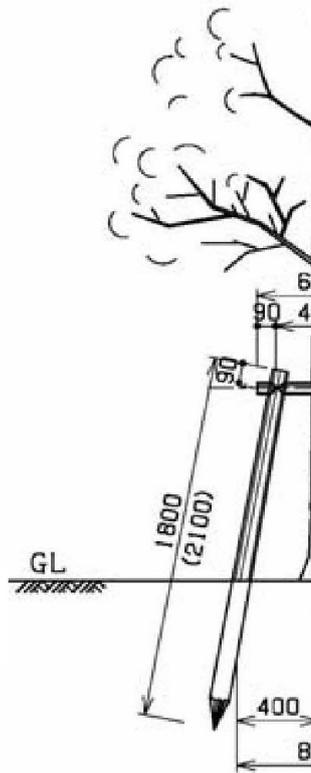


杭木(焼丸太)1800末口60 (70)

要
割を入れる)
△む

と。
:なるように設置すること。

三脚支柱



内容イメージ

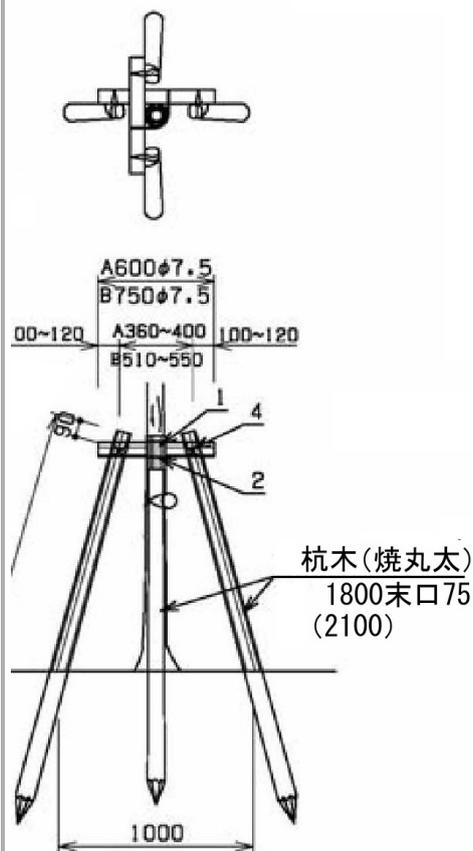
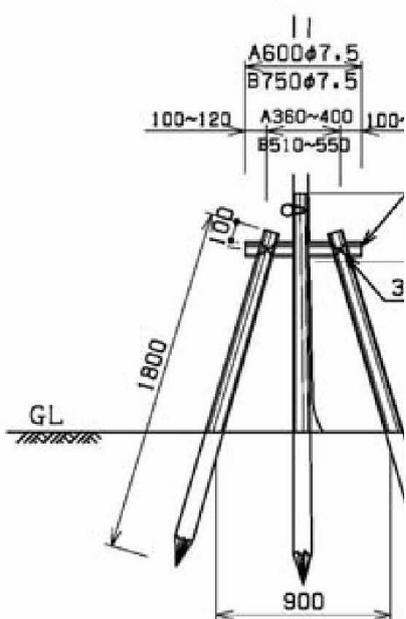
	名称	
1	杉皮	
2	シュロ縄	
3	亜鉛引き鉄線	
4	西洋釘	

摘要
①巻き（割を入れる）
②打ち込む

- 1) 丸太相互の接合箇所は横木に1
- 2) 支柱の方向については監督員(
- 3) 丸太の先端は3面削りとする。

十字鳥居型支柱

記号	規格
A	幹周 30cm、35cm
B	45cm 以上



	名称	寸法
1	杉皮	360
2	シュロ縄	
3	亜鉛引き鉄板	#16
4	西洋釘	L 120

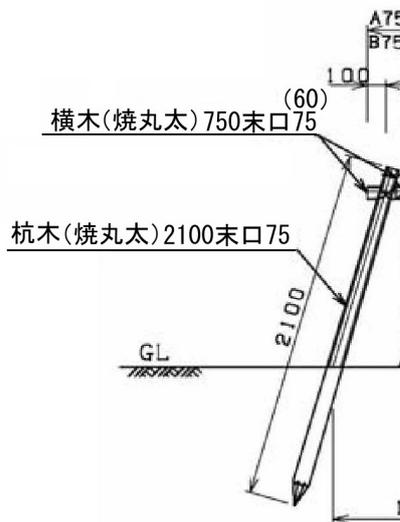
- 1) 丸太相互の接合箇所は横木に1
- 2) 丸太の先端は3面削りとする。

内容イメージ

れる)

四脚鳥居型支柱

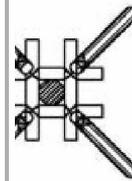
記号	規 格
A	45cm
B	60cm 以上



	名 称
1	杉皮
2	シュロ縄
3	垂鉛引き鉄板
4	西洋釘

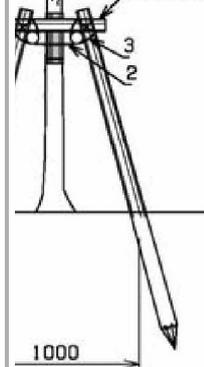
- 1) 丸太相互の接合箇所は横木に1
- 2) 丸太の先端は3面削りとする。

内容イメージ



Aφ6.0
Bφ7.5

腕木は木の大小により切り使いする



摘 要

①巻き(割を入れる)

②打ち込む

ハッ掛け型支柱（竹三本柱、

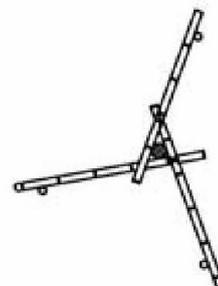
記号	内容	材
A	株物・松類	N=
B	〃	
C	〃	
C	単幹を含む	

杉皮を当てシュロ縄
で割掛けとする

ヤラズ杭上端節止め
鋸目鉄線割り掛け
(#16、2本使い)



目鉄線割掛け(#16)



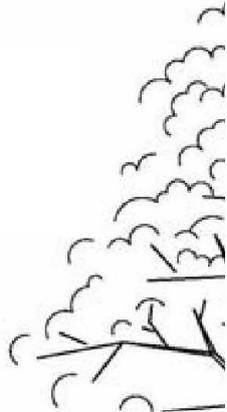
直径 (cm)	長さ (m/本)
3.0	1.3
3.0	1.6
3.0	1.8
3.0	2.5

- 1) 樹木と支柱の結束高は樹高の
- 2) 支柱・ヤラズ杭の上端は節止(
- 3) 必ず結束部にノコ目を入れる。
- 4) 晒竹の直径寸法は三節上とす
- 5) 樹木と丸太の接合部は、樹木に竹皮を当てシュロ縄にて結束する。(割掛けとする)

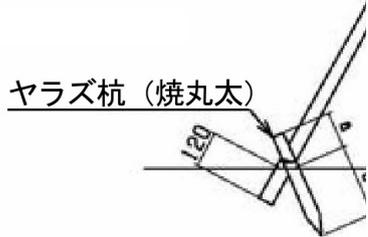
内容イメージ

ハツ掛け型支柱（丸太）

記号	規 格
A	N=3.5 ~ 4.5 松類、株立
B	N=5.0 ~ 6.0 "
C	N=7.0 ~ 9.0 "



杉皮シュロ縄割縄



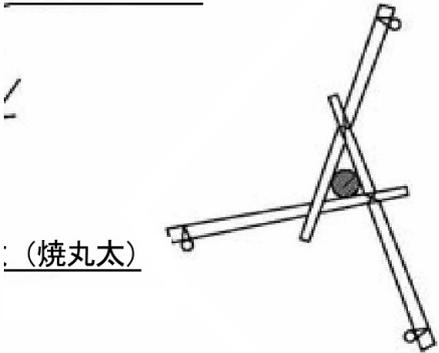
ヤラズ杭 (焼丸太)

型	丸太 (3本)	ヤラズ杭
A	末口 45 L2700	末口
B	末口 45 L3600	末口
C	末口 45 L6300	末口

- 1) 樹木と支柱の結束高は樹高の
- 2) 丸太相互の結束部は垂鉛引き
- 3) 樹木と丸太の接合部は樹木に
- 4) 丸太の先端は3面削りとする。

内容イメージ

割掛けとする



(焼丸太)

西洋釘打ち (L=120) のうえ
鉄線割掛け (2本使い)

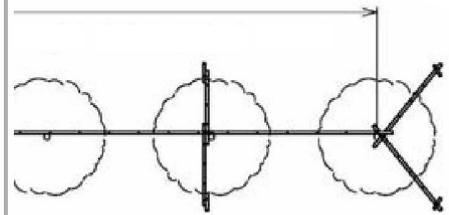
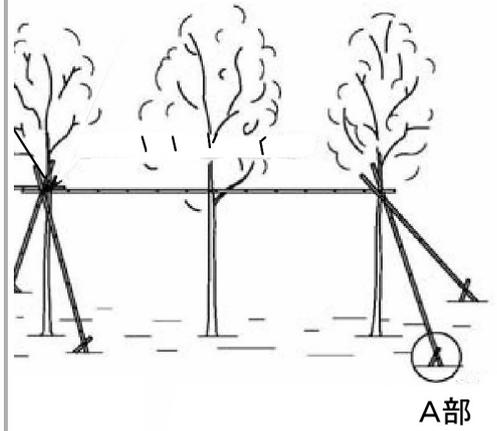
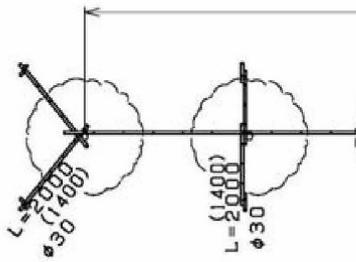
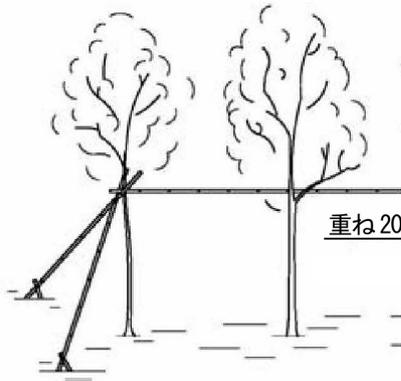


b
200
200
200

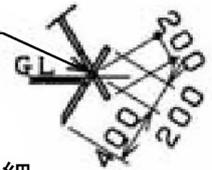
とする。

布掛型支柱

鋸目垂鉛引き鉄線



垂鉛引き鉄線割掛け
(#16, 2本使い)



A部(ヤラズ)詳細

内容イメージ

布掛支柱 A	支柱 10m 当たり
布掛支柱 B	支柱 10m 当たり

8本 / 10m (樹高 < 2.0m) に使用
5本 / 10m (樹高 < 2.0m) に使用